

琉球大学学術リポジトリ

沖縄県内高校・大学生の意識調査：
生活意識・国際感覚・天皇観

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2009-07-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 江上, 能義, Egami, Takayoshi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/11427

沖縄県内高校・大学生の意識調査

——生活意識・国際感覚・天皇観——

目次

一、はじめに

二、調査結果

(1) 生活意識

(2) 国際感覚

(3) 天皇観

三、概 括

四、後 記

調査資料

江 上 能 義

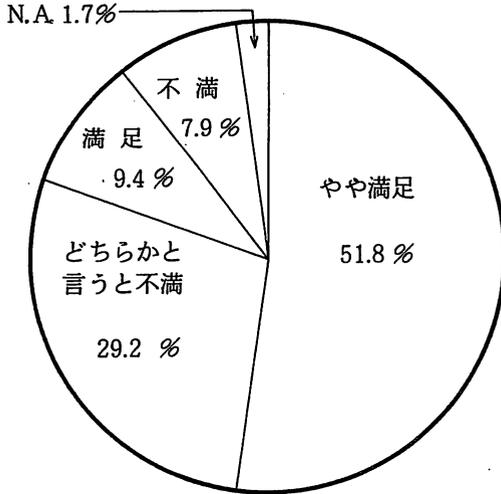
1. はじめに

この六年間、インターカレッジ・セミナーを通して、一貫して沖縄にかかわる諸問題を様々な視点から論議してきた私の自主ゼミでは、保守化進む県内学生と総括する琉大仲地博助教授による「沖縄県内大学生の平和意識」(一九八三年六月)の調査結果¹⁾をめぐって、沖縄県内学生の意識に関する関心と議論が高まった。そこでゼミ自ら、「平和意識」とは違った角度から学生の意識を探ろうということになり、「生活意識」、「国際感覚」、「天皇観」の三点に焦点を合わせて、沖縄県内の高校・大学生を対象にアンケート調査を行なった。なお「天皇観」については、五年前に私達が実施した調査結果があるので、追跡調査の一部となった。

調査は一九八五(昭和六〇)年四月下旬から五月上旬にかけて行ない、この期間が入学時期と重なるために、高校生、大学生ともに新入生を極力、対象から外すようにした。ちなみに一年生を含むのは、高校の部で中部商業の一クラス、大学の部で沖縄キリスト教短期大学だけである。大学の場合、国立の琉球大学と私学の沖縄国際大学、沖縄キリスト教短期大学の四大学、高校の場合、糸満高校、那覇高校、昭和薬科大附属高校、北谷高校、中部商業高校、辺土名高校、八重山高校の七高校で実施し、大学では専攻が偏らないように、高校では地域やレベルが偏らないように留意した。

調査方法は各クラスの出席者に調査票を配布し、その場で記入してもらって回収する方法をとった。ランダム・サンプリングではない点に問題はあるが、大学生二九二名、高校生二九一名、総計五八三名の回答を得て、県内高校・大学生のおおよその意識を把握できたと思う。前述の仲地調査が支持政党、自衛隊、日米安保条約、核問題等について分析しているので、合わせて参照していただければ有益だと思われる。

図1. (Q1) あなたは、現在の学生生活に満足していますか？



二、調査結果

(1) 生活意識

Q1 あなたは現在の学生生活に満足していますか？

「満足」と「やや満足」を合計した満足派が全体で六一・二%、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた不満派が、三七・一%で、満足派が不満派をはるかに上まわっている。現在の学生生活に十分とはいえない

までも、おおかたがまあまあ満足し、とりたてて強い不満がないという今日の高校生や大学生の意識は、前述した仲地調査にみる保守化現象とつながっているのではない。また一方で、かつての学生よりもいっそう現実的となり、現実の生活と適当に妥協する態度が身についてきているといえるのではないだろうか。

高校、大学ともに、女性の方が男性より満足度ははるかに高かったのがひとつの特徴である。

Q2 社会の出来事についてのあなたの考え方に最も影響を与えたものは何ですか？

予想通り、テレビがトップ（四一・〇%）で、友だち

(二五、四%)、新聞(二二、一%)、親兄弟(二一、一%)、雑誌(九、八%)、単行本(七、四%)、先生(五、五%)の順となった。マス・メディアと単行本の合計が八〇、三%となり、友だち・親兄弟などの人間関係の合計四八、三%をはるかに上まわっている。情報化社会の趨勢を如実に反映しているといえよう。雑誌が意外に少ないのは、本土で出版された週刊誌や月刊誌が沖繩の読者に届くのが非常に遅れることと関連があるのではなからうか。

また「先輩」や「先生」よりも「親・兄弟」の影響力が強い点は沖繩社会の特性を表出しているのではなからうか。ちなみに大学生の場合、「県内出身」と「県外出身」に大別すると、「県内」の「親・兄弟」の回答率は一二、五%、「県外」のそれは五、二%となつて、この格差ははっきりしている。また女性(一五、〇%)が男性(八、八%)よりも「親・兄弟」の影響力が強い。「先生」の影響力も同様に女性の方が男性より強くみられる。逆に男性は女性よりも「先輩」の影響力が強い。

高校生と大学生の比較では、「新聞」と「単行本」の影響力で大学生の方が高校生をはるかに上まわっている。

Q3 社会に出た場合の目標を、あなたはもっていますか？

全体でみた場合、「もっている」が二四%、「漠然とであるがもっている」が五八、一%、「考えたことがない」が一六、八%であり、漠然とした目標をもっているという回答が最も多かった。程度の差はあれ、何らかの形で目標をもっている学生がもっていない学生よりもはるかに多い。高校生の場合、男女差はほとんどないが、大学生になると女子学生は男子学生よりも「漠然度」が八%上まわる。

Q4 あなたは今、何が一番関心がありますか？

「進路」四六、〇%、「対人関係」二七、四%、「趣味」一五、四%がベスト・スリーで、その後にはとけたで

「お金」、「学問」、「社会情勢」、「健康」と続く。「進路」の比率が非常に高く、「社会情勢」とか「学問」は強い関心から遠い位置にある。

「対人関係」に男女差がはっきり表われている（男性二三、一％、女性三四、五％）。逆に男性が女性を上まわるのは「お金」「学問」「健康」である。大学生は高校生と比較して「進路」「社会情勢」「学問」「健康」において高く、「対人関係」「趣味」において低い。県外出身の大学生は、県内出身の大学生より対人関係への関心が半分以下である。

(2) 国際感覚

Q 5 日本と一番、関係の深い地域（国）はどこだと思いますか？

圧倒的多数がアメリカ（八九、九％）と答えており、群をぬいている。マスコミで取り上げられる割には数値はずっと下がるが、二位は中国（七、七％）、三位は東南アジア（三、九％）となり、アメリカを除けばこの両地域（国）を日本と比較的に関係が深いとみなしている。その一方、ソ連、ヨーロッパ、南米、オセアニア、アフリカは全て一％前後と、日本とはきわめて関係の薄い地域とみなされている。

Q 6 アセアン（東南アジア諸国連合：A S E A N）の加盟国を以下から選んで下さい。

近年、とみに日本政府や沖縄県が強調しているアセアン諸国に対する基本的知識を、学生がどの程度、もちあわせているかを調べるために設定した質問である。東南アジア地域に対する国別の認識度はさほど高くなく、とりわけアセアン加盟六か国のうち、ブルネイは一昨年に独立して加盟したばかりなので、ほとんどの学生が知らな

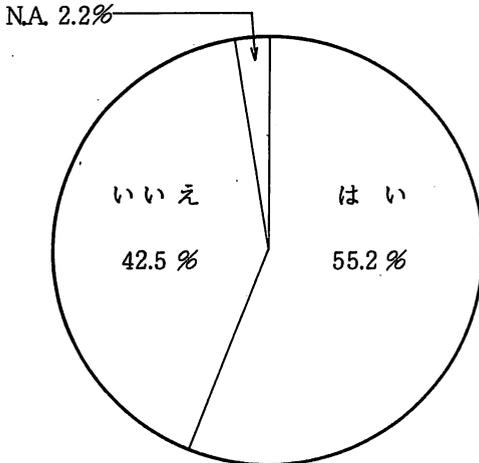
いのではないかと予想していた。

六か国の正解率からみると、全問正解の回答率は六、九％、五問正解は二八、八％、四問正解一六、六％、三問正解一二、三％、二問正解八、四％、一問正解五、〇％、〇問正解一四、二％、NA七、七％の結果となった。全問正解と五問正解を合計すると約三六％となり、回答者の三分の一以上がかなり正確な知識を示したことになり、私たちの調査前の予想を上まわった。大学生に限定すると、六問正解は約一一％、五問正解が三七％となり、合計では半数に達する。この設問だけで速断することはできないが、アセアンに対する基本的な知識を沖縄の学生はかなりの程度、もちあわせているのではなからうか。男性の方が女性よりも、県外出身学生の方が県内出身学生よりもはるかに高い正解率を示している。

国別の正解率をみると、マレーシア六七、八％、シンガポール六六、九％、インドネシア六五、五％、フィリピン六一、一％、タイ五四、五％、ブルネイ一二、三％の順となっている。やはりブルネイの正解率はきわめて低い。ベトナム(二二、一％)、ビルマ(二二、〇％)と混同しているケースが多い。次いで中国、香港、台湾、韓国がブルネイ並みか、もしくは上まわる一〇％台の回答率である。

Q7 現在、日本は東南アジアと密接な関係にありますか、今後はこの分野の交流がより重要だと思えますか？
 トップは「経済」(四二、四％)であり、次いで「技術」(二九、二％)、「文化」(二四、五％)となり、これらがベスト・スリーである。「政治」(九、九％)、「軍事」(二、六％)はかなり低い。すなわち日本と東南アジアとの交流では「経済」「技術」を重視する者がきわめて多く、「文化」交流はこれらに一步譲る結果となっている。

図 2. (Q 8) 今年 4 月に沖縄国際センターがオープンしますが、このことをあなたは知っていますか？



「経済」重視は男性よりも女性の方に、「技術」重視は女性よりも男性に、県内出身よりも県外出身に多く、「技術」重視は女性よりも男性に、県内出身よりも県外出身に、高校生よりも大学生に多い。

Q 8 今年四月に沖縄国際センターがオープンしますが、このことをあなたは知っていますか？

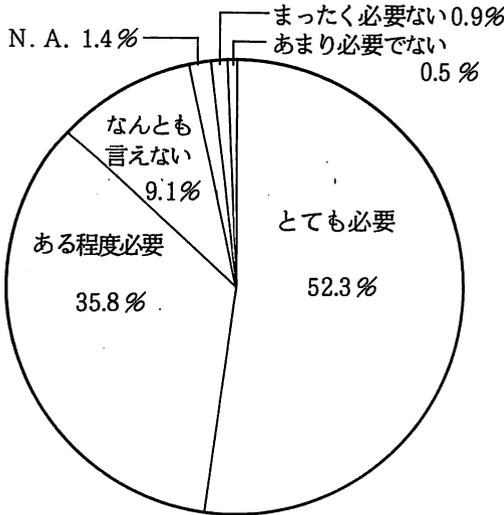
調査時期が沖縄国際センターのオープンとほぼ一致すること、さらにこのことを沖縄のマスコミがかなり大きく取り上げていることから、七〇%前後の「はい」を予測していたが、調査結果は五五、二%と予想をはるかに下まわった。大学生と較べて高校生の知識の低さが目立った(大学生七九、一%、高校生三一、三%)。女性よりも男性の方が、県外出身大学生よりも県内出身大学生の方が高い。

この時点で沖縄国際センターに対する知識や関心が沖縄全般にまでは十分に拡まっていなかったことの表われといえよう。

Q 9 沖縄国際センターはどこにありますか？(Q 8 で「はい」と回答した者に対して)

設置場所は浦添市であるが那覇市との近接地であることから、正解率は三分の一程度になるのではないかと予

図 3. (Q 10) 沖縄にとって国際交流は必要なことだと思いますか？



Q 10 沖縄にとって国際交流は必要なことだと思いますか？

「とても必要」の回答者が五二・三%、「ある程度必要」が三五・八%で、沖縄の国際交流の必要性を感じる者が九〇%近くを占める結果となった。しかも「とても必要」と強く必要性を感じる者は二人に一人以上ということであり、沖縄の学生たちは国際交流を強く望んでいるといえよう。ちなみに国際交流不要派は合計しても一・四%にしかならず、微々たる存在でしかない。「とても必要」と回答した者の比率は大学生の方が高校生を約一〇%上まわっている。

Q 11 沖縄はこれからの地域(国)と最も交流を深めていくべきだと思いますか？

トップは中国と東南アジアが二六・九%で並んだ。次いでアメリカ(二〇・四%)、ヨーロッパ(一六・八%)、

想していたが、調査結果は七七・六%と高い比率を示した。すなわち国際センターのオープンについて知っている者はその地理的不明確さにもかかわらず、その場所をかなり正確に知っていたことになる。那覇市と回答した者は三・七%、宜野湾市と回答した者は四・三%といずれもきわめて少数であった。

が続き、南米（五、五％）、台湾（四、五％）、オセアニア（二、六％）、アフリカ（二、四％）は少数派グループといえよう。つまり沖縄の若者は、現在、日本と最も密接な関係にあるアメリカを上まわって、中国と東南アジアに将来の国際交流を期待する要望が強いということである。

調査形式が若干異なるが、総理府の外交世論調査結果と比較してみると興味深い（表1）。この調査では最も親しくするべき国を選ばせている。毎年、行なわれているこの調査では、残念ながら「東南アジア」は選択肢の中に含まれていないので比較検討するのに問題が残るが、しかし参考にはなると思われる。昭和五九年の調査結果をみても圧倒的に米國（四三、三％）であり、続いて中国（一九、五％）となっている。すなわち日本全体の傾向としては今後もアメリカとの交流に最も力を注ぐべきであるとする意見が非常に強いのである。関心が高まりつつあるとはいえ、二位の「中国」は「米國」の半分以下である。この数値は日本人の国際感覚を明確に示しているといえよう。

この調査結果とは対照的に、今回の私達の調査では、沖縄の将来の国際交流に関して、その対象がアメリカをしのいで中国と東南アジアが一位を占めたことは注目すべきであろう。沖縄の地理的歴史的な背景を考えると、これからもっと自由活発な交流や貿易が促進されれば、今後いっそう中国や東南アジア諸国への関心が高まっていくのではなからうか。ともあれ、高校、大学生に限定されているとはいえ、沖縄の特性がはっきりと表われている調査結果である。

表 1. 日本が最も親しくするべき国（％）

	米 国	中 国	ソ 連	韓 国	の す べ て の 国	そ の 他
59年 6月	43.3	19.5	3.0	0.6	10.3	4.3
58年 6月	38.5	16.9	2.4	0.4	14.4	7.1
57年 6月	34.2	18.7	1.9	0.5	16.3	7.3
56年 5月	38.2	16.0	1.7	0.5	11.2	10.0
55年 5月	32.3	23.9	1.1	0.6	14.1	5.2

（総理府：外交に関する世論調査）

地理的にみれば最も近い外国である台湾は、中国、東南アジアに較べて、沖縄の若者にはきわめて遠い存在であるという印象を受ける。日本と正式の国交がないとはいえ、歴史的にも沖縄と関係の深い台湾は現在、NICS（新興工業国）としてめざましい発展を遂げて世界の注目を集めている国である。もっと知識と関心があってもいいのではなからうか。それとは対照的に、沖縄と直接的な関係はほとんどない「ヨーロッパ」の一七〇という高い比率はどのように解釈すればよいのであろうか。アジア・アフリカ等の発展途上国よりも先進国である欧米を偏重してきた日本の伝統的傾向がこの調査でもその一端をかいま見せているといえないだろうか。教科書から忠実に知識を吸収している高校生の欧米指向（アメリカ二六・一％、ヨーロッパ二〇・六％）が大学生（アメリカ一四・七％、ヨーロッパ一三・〇％）をはるかに上まわっていることに留意すべきであろう。

「中国」指向に関して男女差はほとんどないが、「東南アジア」指向に関しては男性が女性をはるかに上まわり、約二倍となっている。いいかえれば沖縄の女子学生は東南アジアよりもアメリカ、ヨーロッパへの関心と指向性が強いということである。また男性に限定すれば、「東南アジア」がトップ（三三・一％）で、二位が中国（二六・四％）という結果である。県外出身の大学生の方が県内出身よりも欧米指向はるかに少ない。

Q 12 沖縄はこれからの分野で国際交流を深めていくべきだと思いますか？

「文化」が一位（四二・四％）で、「経済」（三八・八％）が二位、少し差が開いて「技術」（一八・四％）が三位となっている。質問の内容が若干、異なるが、Q7で日本の東南アジアに対する国際交流で重要なのは、前述したように一位が「経済」、二位「技術」、三位「文化」となっていた。この三分野がとりわけ重要なのはこの設問でも同様なのであるが、沖縄からみた国際交流の場合、経済や技術よりも文化がトップにきている点に特色

が出ているように思われる。

沖縄の学生はもちろん、経済と技術の交流の重要性を十分に認識しているが、それでもやはり沖縄固有の歴史的所産である独自の文化を中心にして国際交流を深めていきたいという願望があらわれているのではなからうか。

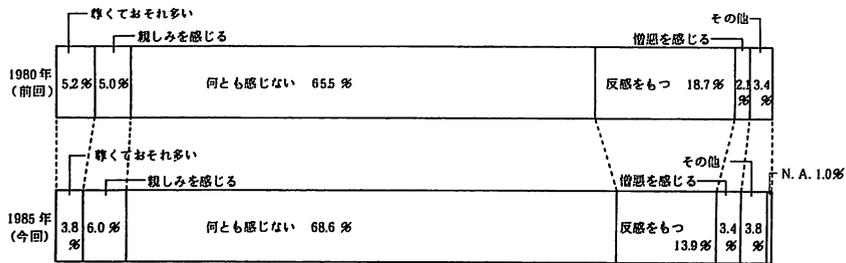
高校生に「文化」指向が非常に強く、逆に大学生では「経済」指向が「文化」をしのぐ。とりわけ男性の大学生は四九、六%が「経済」を選んでる。そして県内出身の大学生の方が県外出身の大学生よりも「経済」指向が強い。

(3) 天皇観

Q 13 あなたは、天皇および皇族に対してどんな感じをおもちですか？

「何とも感じない」が六八、六%で圧倒的に多かった。そして「反感をもつ」一三、九%、「親しみを感じる」六、〇%、「尊くおそれ多い」三、八%、「その他」三、八%、「憎悪を感じる」三、四%と続いている。五年前の調査と比較すると、「尊くおそれ多い」「反感を感じる」が減少し、「何とも感じない」「親しみを感じる」「憎悪を感じる」が増加しているが、それほど大きな変化がこの五年間で生じたとは

図 4. (Q 13) あなたは、天皇および皇族に対してどんな感じをおもちですか？



いえない。最も大きな変化といえるのは「反感をもつ」が五年前の一八、七％から今回の一三、九％に減少していることであり、その分を「何とも感じない」「親しみを感ずる」「憎悪を感じる」が分散吸収して微増している。

「反感をもつ」のは大学生よりも高校生に多い。県内出身の大学生と県外出身の大学生の比較では両者に明確な相違点がみられる。「親しみを感ずる」では県内出身の五、九％に対して、県外出身は二〇、七％とはるかに多い。逆に「反感を感じる」が県内出身一三、六％に対して県外出身は六、九％である。これらの数字から県外出身の大学生は、県内出身の大学生に較べて「反感」がきわめて少なく、「親しみを感ずる」者が相対的に多いといえる。

ちなみに共同通信調査センターによる昭和五九年一二月の全国調査⁴⁾(二〇才以上の男女三〇〇〇人が調査対象)によれば、ほぼ同じ内容の質問に対して、「何とも感じない」が四六、一％、「親しみを感ずる」が三四、三％、「尊くおそれ多い」が一三、〇％、「反感を感じる」二三、三％、「すてき」一一、一％、「その他」〇、六％となっている。調査対象が異なるので単純な比較はできないが、県内出身と県外出身との相違から判断しても、沖縄の学生は天皇や皇族に対して「親しみ」が薄く、「無関心」や「反感」の度合いが強いといえよう。今後の推移としてはおおまかにいって「反感」が漸減し、その分だけ「無関心」が漸増していくのではなからうか。

Q 14 あなたは、太平洋戦争の戦争責任を誰に求めますか？(注：該当するものはいくつでもよい)

単純集計によれば、実に半数以上の者が「軍部」(五六、八％)に戦争責任を求めている。次いで「内閣」三二、九％、「天皇」二八、五％となり、この上位三者に続いて「国民」一六、一％、「わからない」一六、三％、

「外国」六、五％、「その他」五、一％となっている。

高校生と大学生を比較した場合、大学生に「軍部」と「内閣」が多く、高校生に「天皇」が多い。男女差では、女性の方が「天皇」に責任を求める比率が高い。最も興味深いのは、大学生が戦争責任を「国民」に求める度合が非常に高く（二四、〇％）、「天皇」とほぼ同数である。高校生八、二％の約三倍にのぼる。県外出身大学生は「天皇」「軍部」「内閣」の比率は各々、県内出身大学生よりも低く、その分だけ「国民」「わからない」「その他」が高くなっている。

前回調査と同様に全体を一〇〇％としてその比率を比較した場合、「天皇」が減り（二一、三％→一七、四％）、その分だけ「国民」（七、八％→九、九％）、「わからない」（七、三％→一〇、〇％）がふえている。「軍部」は変わらず、「内閣」は漸減している（二二、〇％→二〇、二％）。

Q 15 天皇制の将来は、どうあるべきだと思いますか？

「（象徴として）今のままでよい」（五六、三％）が圧倒的に多く、次に「天皇制を廃止する」（二三、一％）、「わからない」（一三、五％）、「天皇にもう少し権限を与える」（四、六％）となり、「戦前のように天皇を主権者の地位にもどす」は皆無であった。

図 5. (Q 14) あなたは、太平洋戦争の戦争責任を誰に求めますか？

	天皇	軍部	内閣	国民	外国	わからない	その他
1980年 (前回)	21.3%	35.0%	22.0%	7.8%	4.0%	7.3%	2.6%
1985年 (今回)	17.4%	34.8%	20.2%	9.9%	4.4%	10.0%	3.2%

N.A. 0.6%

「今のままでよい」は高校生よりも大学生に、県内出身大学生よりも県外出身大学生に多く、「天皇制廃止」は県外出身者よりも県内出身の大学生に多かった。前回調査と比較した場合、全体的比率の大きな変化はみられない。強いていえば「わからない」が前回の一〇、〇%から今回は一三、五%と若干増えている点であろう。

参考までに前出の共同通信調査の同じ質問に対する回答結果をみると「今のままでよい」が七七、三%、「天皇にもう少し政治的な力を与える」が八、六%、「主権者にする」が一、六%、「天皇制廃止」一〇、〇%、「その他」〇、二%、「わからない」「無回答」が二、三%であった。この全国調査と比較すると、今回の調査は「今のままでよい」が相対的に少ない分だけ「天皇制廃止」「わからない」が多くなっているといえよう。とりわけ「天皇制廃止」は全国調査の二倍強となっている点が目立つ。

Q 16 他府県と沖縄とは、天皇に対する意識はちがうと思いますか？
 「はい」と回答した者が六四、九%、「いいえ」が一、九%、「わからない」が二二、二%、「無回答」が一、〇%であった。ほぼ三人に二人までが天皇に対する沖縄の意識は他府県と異なると考えているので

図 6. (Q 15) 天皇制の将来は、どうあるべきだと思いますか？

	天皇にもう少し政治的権限を与える	戦前のように主権者にもどす 1.6%	その他 1.2%	NA	
1980年 (前回)	(象徴として) 今のままでよい 55.7%	4.5%	天皇制を廃止する 23.9%	わからない 10.0%	3.2%
1985年 (今回)	(象徴として) 今のままでよい 56.3%	4.6%	天皇制を廃止する 23.1%	わからない 13.5%	1.7%

天皇にもう少し政治的権限を与える

その他 0.7%

ある。これは五年前の調査とはほぼ同じ結果であり、若干、数字が変わったのは、「いいえ」と「無回答」が前回より約二%ずつ減り、その分だけ、つまり四%ほど「わからない」が増えた点である。

また特性別にみると、「意識のちがいがあ」と答えた者は、女性よりも男性に、高校生よりも大学生に、県外出身大学生よりも県内出身大学生に多い。高校生と県外出身大学生の「わからない」（各々、二八・六%と二四・〇%）が多いのが目立つ。

Q 17 これまで天皇が訪れていない県は沖縄だけであることをあなたはどう思っていますか？

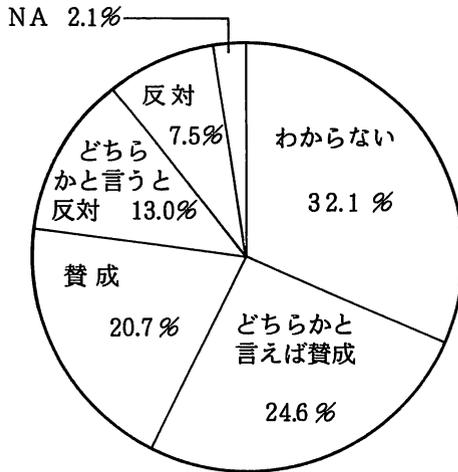
全体で見れば、「いいえ」（五六・九%）が「はい」（四二・〇%）を上まわっている。高校生に限れば、「いいえ」が「はい」の二倍以上となり、知らなかった者が七〇%近くを占めている。沖縄県民がこれまでこだわり続けたこうした歴史的事実に対して年齢層が下がるにしたがって疎くなっていることがわかる。天皇制に対する沖縄の無関心傾向が反映されているともいえよう。

この設問に対しては県内出身大学生と県外出身大学生との間に大きな差異はみられず、県内出身の方が約四%程度、県外出身者よりも

図 7. (Q 16) 他府県と沖縄とでは、天皇に対する意識はちがうと思いますか？

1980年 (前回)	はい	64.7%	いいえ 13.8%	わからない 18.1%	NA 3.4%
				NA 1.0%	
1985年 (今回)	はい	64.9%	いいえ 11.9%	わからない 22.2%	

図 8. (Q18) 昭和62年国体で、天皇が初めて
沖縄を訪問することについて、あなたは
どう思いますか？



上まわった。

Q 18 昭和六二年沖縄国体で、天皇が初めて沖縄を訪
問することについて、あなたはどう思いますか？

賛成派(四五、三%)が反対派(二〇、五%)を大き
く上まわった。また「わからない」(三二、一%)がき
わめて多かった。内訳は「賛成」二〇、七%、「どちら
かといえば賛成」二四、六%、「どちらかといえば反対」
一三、〇%、「反対」七、五%、「わからない」三二、一
%、「無回答」二、一%である。賛成派は高校生よりも
大学生に多く、高校生は「わからない」(三九、三%)
が最も多い回答となっている。県内出身大学生と県外出

身大学生の比較では明確な差異があらわれている。後者は前者よりもはるかに多くの学生が天皇来沖に賛成し、
反対は少ない。

だが賛成派もその理由については様々で、複雑なものがあるようで、それは回答者が欄外に敢えて書き添えて
あったいくつかのコメント(「なにがなんでも来るべきだ」、「沖縄に来て謝罪してほしい」、「だけどちょっ
と来るのが遅い」など)からも読みとれる。

三、概 括

〈生活意識〉

学生生活には大半が十分とはいかないまでもおおかた満足している。したがって身近な強い不満から政治や社会へと駆りたてるエネルギーは希薄となっている。そして情報を着実に収集しながら自分が直接、関わる進路や人間関係に細心の注意を払い、余った時間は自分の好きな趣味に費す。学問や社会情勢などにはさほど強い関心はなく、ほどほどにこなせばよいというきわめて現実主義的な考え方がうかがえる。こうした基本的な態度は他府県の学生と比較しても大きな違いはないのではなからうか。学生の生活意識に沖縄がかかえる諸問題はあまり影を落としていないように思われる。

〈国際感覚〉

国際交流に関する沖縄県の学生、とくに大学生の知識と関心はかなり高く、しかも沖縄の独自性に根ざしており、現在、沖縄県が展開しつつある国際交流の基本構想やマスコミのキャンペーンに大半が賛意を表明しているといえよう。ただし具体的な施策や施設等についての正確な知識に欠ける者もかなりいるので、行政サイドは一般への浸透方法と民意の吸収策をもっと配慮する必要があるのではなからうか。また欧米偏重の教育体系も見直されるべきであろう。

ともすれば国際交流は経済交流だけになりがちで、この点にアジア諸国から不平・不満が相次いでいる現状を考慮しても、沖縄の若者がこうした国々と、しかも文化交流を通じた人間と人間との相互理解に重点を置いて国際交流を考えている姿勢は喜ばしいといえよう。

△天皇観▽

Q 13からQ 16までは前回調査と同じ設問であるが、五年前に較べて大きな変化はない。前回調査の概括は、「沖繩は他府県に較べて天皇や皇族に対する反感や憎悪が強く、親しみを感じる者がきわめて少ない。また天皇制廃止論も他府県より多い。しかしながら天皇制をめぐる諸問題に関する沖繩県民の賛否の構造は全国レベルと較べてみて際立った相違はなく、アンケート全般からいえることは沖繩県の場合、「わからない」の占める割合がきわめて大きいことである。もちろん相対的には沖繩県では天皇制に対する厳しい見方が多いのであるが、他府県と根本的な相違点があるというよりはむしろ、天皇に対する地理的歴史的な隔離感に起因する無関心や無意識が最も如実に浮き彫りにされる」ということであつたが、今回の調査でもほぼ同じことがいえる。

わずかながら変化が見られるのは、天皇および皇族に対する反感が減少していること(一八、七%↓二三、九%)と、天皇に戦争責任を求める者の比率が減少している(二二、三%↓一七、四%)ことである。そしてまた、Q 14とQ 16に共通していえるのは今回の場合、前回よりも全て、「わからない」が二〜四%の範囲で増加している点である。Q 17で天皇が訪れていない県は沖繩だけであることを知っていた学生は半数以下であつたこと、高校生は三分の二以上が知らなかつたことを考え合わせても、この五年間だけをとっても天皇制に対する反感が戦争体験の風化とともにうすれ、その一方で「天皇に対する地理的歴史的隔離感に起因する無関心や無知識」はいっそう進行しているといえよう。

県内出身の大学生と比較して県外出身の大学生の天皇観に根本的な賛否の相違点はないが、しかし相対的にみてやはり、天皇および皇族に対して親近感があり、天皇に戦争責任を求める者が少ない点に特徴がある。

いずれにせよ沖繩県の高校・大学生の意識から太平洋戦争の痕跡は確実に消失しつつあり、それと共に天皇に

対する無関心が増大していく中で屈折した感情も希薄化しつつあるといえよう。

四、後記

この調査に従事したメンバーは、大城功（社会学科四年）、大城博（史学科四年）、東風平桂子（法政学科四年）、上原守（経済学科三年）、島袋一成（法政学科三年）、金城和治（同上）、仲村典子（国文科三年）、山里円香（同上）、小浜時子（同上）、杉谷藤樹（史学科三年）、寄川佳子（社会学科三年）の十一名である。

今回の調査に際して御協力いただいた各高校・大学の諸先生方や学生諸君に心より御礼申し上げたい。また、仲地博助教授には資料の提供やアドバイスなどで大変お世話になった。記して感謝申し上げる次第である。

注

- (1) 仲地博「沖縄県内大学生の平和意識」『琉大法学』第三六号、一九八五年三月。
- (2) 『毎日新聞』一九八四年一〇月二二日。
- (3) 江上能義「天皇制と沖縄」『琉大法学』第二八号、一九八一年三月。
- (4) 『沖縄タイムス』一九八五年一月四日。
- (5) 江上能義、前掲論文、三五八―九頁。

調 査 資 料

沖縄県内高校・大学生の意識調査結果

〈生活意識・国際感覚・天皇観〉

1. 調査期間：1985（昭和60）年4月下旬～5月上旬
2. 調査対象：（高校生）糸満高校，那覇高校，昭和薬科大学附属高校，北谷高校
中部商業高校，辺土名高校，八重山高校
（大学生）琉球大学，沖縄国際大学，沖縄大学，
沖縄キリスト教短期大学
3. 調査総数：583（高校291，大学292）
4. 性 別

	高 校 生	大 学 生
男	133（45.7%）	230（78.8%）
女	158（54.3%）	62（21.2%）

5. 出身県別（大学生）

沖縄県内	235（80.5%）
沖縄県外	57（19.5%）

6. 調 査：琉球大学法文学部 江上ゼミナール
7. 回答率単位：%

Q 1. あなたは、現在の学生生活に満足していますか？

	1. 満 足	2. やや満足	3. どちら不満	4. 不 満	N. A.	計
全 体	9.4	51.8	29.2	7.9	1.7	100.0
男	7.4	47.9	33.1	10.2	1.4	100.0
女	12.7	58.2	22.7	4.1	2.3	100.0
大学 (全体)	8.6	50.7	30.8	9.2	0.7	100.0
男	7.4	49.1	32.6	10.9	0	100.0
女	13.8	55.2	25.9	1.7	3.4	100.0
高校 (全体)	10.3	52.9	27.5	6.5	2.7	99.9
男	7.5	45.9	33.8	9.0	3.8	100.0
女	12.7	58.9	22.2	4.4	1.9	100.1
県内 (大学)	8.5	50.6	32.3	7.7	0.9	100.0
県外 (高校)	8.8	50.9	24.6	15.8	0	100.1

Q 2. 社会の出来事についてのあなたの考え方に最も影響を与えたものは何ですか？

	1. テレビ	2. 新聞	3. 単行本	4. 雑誌	5. 先生	6. 先輩	7. 友だち	8. 親, 兄弟	N.A.	計
全 体	41.0	22.1	7.4	9.8	6.3	5.5	25.4	11.1	2.2	130.8
男	41.0	24.2	8.5	10.2	4.4	6.9	26.7	8.8	1.9	132.6
女	40.9	18.6	5.5	9.1	9.5	3.2	23.2	15.0	2.7	127.7
大学 (全体)	37.7	28.4	10.3	9.6	7.9	6.8	24.7	9.9	0.7	136.0
男	40.4	28.3	10.4	10.0	4.3	8.7	24.8	7.4	0.9	136.5
女	34.5	28.8	11.0	8.1	20.7	3.4	24.7	22.4	0	133.6
高校 (全体)	44.3	15.8	4.5	10.0	4.8	4.1	26.1	12.4	3.8	125.8
男	45.1	19.5	6.0	12.0	4.5	5.3	31.6	12.8	3.8	140.6
女	43.6	12.7	3.2	8.2	5.1	3.2	21.5	12.0	3.8	113.3
県内 (大学)	41.5	34.4	10.7	12.1	8.9	7.1	28.6	12.5	0.9	156.7
県外 (大学)	36.2	15.5	12.1	5.2	5.2	10.3	29.3	5.2	0	119.0

Q 3. 社会に出た場合の目標を、あなたはもっていますか？

	1. もっている	2. 漠然と	3. 考えたこと ない	N. A.	計
全 体	24.0	58.1	16.8	1.0	99.9
男	26.2	57.9	15.2	0.8	100.1
女	20.5	58.6	19.5	1.4	100.0
大学 (全体)	27.4	61.3	11.0	0.3	100.0
男	29.6	59.1	11.3	0	100.0
女	20.7	67.2	10.3	1.7	99.9
高校 (全体)	20.6	55.0	22.7	1.7	100.0
男	20.3	55.6	21.8	2.3	100.0
女	20.9	54.4	23.4	1.3	100.0
県内 (大学)	27.9	61.1	10.5	0.4	99.9
県外 (大学)	24.4	62.2	13.3	0	99.9

Q 4. あなたは今、何に一番関心がありますか？

	1.進路	2.対人 関係	3.お金	4.社会 情勢	5.学問	6.健康	7.趣味	Y その他	N. A.	計
全 体	46.0	27.4	9.3	4.8	7.2	4.3	15.4	4.1	1.7	120.2
男	46.3	23.1	10.7	4.1	9.1	5.5	17.6	4.7	1.1	122.2
女	45.5	34.5	6.8	5.9	4.1	2.3	11.8	3.2	2.7	116.8
大学 (全体)	53.4	24.0	9.2	6.8	9.9	7.2	12.3	3.4	1.4	127.6
男	52.2	23.0	10.4	5.7	10.0	7.8	12.6	2.6	1.3	125.6
女	55.2	29.3	5.2	12.1	9.5	5.2	12.1	5.2	1.7	136.3
高校 (全体)	38.5	30.9	9.3	2.7	4.5	1.4	18.6	4.8	2.1	112.8
男	35.3	23.3	11.3	1.5	7.5	1.5	26.3	8.3	0.8	115.8
女	41.1	37.3	7.6	3.8	1.9	1.3	12.0	1.9	3.2	110.1
県内 (大学)	57.1	29.9	9.8	8.5	10.7	9.4	13.4	2.7	1.8	143.3
県外 (大学)	54.4	14.0	10.5	3.5	12.3	5.3	14.0	10.5	0	124.5

Q 5. 日本と一番、関係の深い地域（国）は、どこだと思いますか？

	1. アメリカ	2. ヨーロッパ	3. ソ連	4. 中国	5. 南米	6. 東南アジア	7. オセアニア	8. アフリカ	9. その他	N. A.	計
全 体	89.9	1.2	1.9	7.7	0.9	3.9	0.9	0.5	0.5	0.5	107.9
男	88.7	1.1	2.2	7.4	0.8	4.7	0.8	0.3	0.8	0	106.8
女	88.6	0.9	1.4	7.7	0.9	2.7	0.9	0.9	0	1.4	105.4
大学(全体)	92.7	1.7	2.1	8.2	1.0	5.2	1.4	0.7	0.3	0.3	113.6
男	90.9	1.4	2.2	7.7	0.8	5.2	0.8	0.3	0.8	0	110.1
女	93.1	1.7	1.7	10.3	1.7	5.2	1.7	1.7	0	1.7	118.8
高校(全体)	87.3	0.7	1.7	7.2	0.7	2.7	0.3	0.3	0.7	0.7	102.3
男	88.0	0.8	2.3	7.5	0.8	3.8	0	0	1.5	0	104.7
女	86.7	0.6	1.3	7.0	0.6	1.9	0.6	0.6	0	1.3	100.6
県内(大学)	97.3	1.8	2.7	9.4	0.9	6.7	1.3	0.9	0	0.4	121.4
県外(大学)	89.7	1.7	0	5.2	1.7	0	1.7	0	1.7	0	101.7

Q 6. アセアン（東南アジア諸国連合：ASEAN）の加盟国を以下から選んで下さい（複数）。

	1. 中国	2. フィリピン	3. 香港	4. タイ	5. シンガポール	6. マレーシア	7. インドネシア	8. 台湾	9. 韓国	10. ブルネイ	11. ベトナム	12. シリヤ	13. オーストラリア	14. その他	N. A.	計
全 体	9.9	61.1	12.7	54.5	66.9	67.8	65.5	12.2	10.6	12.3	22.1	22.0	6.0	2.1	6.2	431.9
男	12.1	68.9	10.7	60.6	71.3	75.8	72.2	12.7	12.1	16.0	23.1	26.4	8.3	2.8	9.6	482.6
女	6.4	48.2	15.9	44.5	59.5	54.5	54.5	11.4	8.2	6.4	20.5	14.5	2.3	0.9	15.9	363.6
大学(全体)	6.8	71.9	10.3	64.7	77.1	80.8	78.4	12.0	9.9	17.5	17.8	26.4	5.5	1.4	4.8	485.3
男	8.3	75.2	10.0	66.5	80.0	85.7	79.6	11.3	10.4	17.8	20.4	27.0	6.5	1.7	5.7	500.1
女	1.7	56.9	12.1	55.2	65.5	60.3	72.4	15.5	6.9	17.2	8.6	24.1	1.7	0	1.7	399.8
高校(全体)	13.1	50.2	15.1	44.3	56.7	54.6	52.6	12.4	11.3	7.2	26.5	17.5	6.5	2.7	19.2	389.9
男	18.8	57.9	12.0	50.4	56.4	58.6	59.4	15.0	15.0	12.8	27.8	25.6	11.3	4.5	16.5	442.0
女	8.2	43.7	17.7	39.2	57.0	51.3	46.8	10.1	8.2	2.5	25.3	10.8	2.5	1.3	21.5	346.1
県内(大学)	8.0	76.8	13.4	69.2	84.4	88.8	85.3	14.3	12.1	18.3	18.8	29.5	5.8	1.3	4.5	530.5
県外(大学)	3.4	65.5	0	58.6	62.1	60.3	65.5	5.2	3.4	17.2	17.2	19.0	5.2	1.7	6.9	374.0

(A S E A N加盟国名正解率)

	6問 正解	5問 正解	4問 正解	3問 正解	2問 正解	1問 正解	0問 正解	N. A.	計
全 体	6.9	28.8	16.6	12.3	8.4	5.0	14.2	7.7	99.9
男	9.6	36.6	15.4	11.6	6.6	5.2	10.2	4.7	99.9
女	2.3	15.9	18.6	13.6	11.4	4.5	20.9	12.7	99.9
大学(全体)	10.6	37.3	20.5	14.0	5.1	3.4	2.1	6.8	99.8
男	12.2	40.0	18.3	12.6	4.8	3.9	1.7	6.5	100.0
女	5.2	24.1	29.3	20.7	6.9	1.7	3.4	8.6	99.9
高校(全体)	3.1	20.3	12.7	10.7	11.7	6.5	26.5	8.6	100.1
男	5.3	30.8	10.5	9.8	9.8	7.5	24.8	1.5	100.0
女	1.3	11.4	14.6	11.4	13.3	5.7	27.8	14.6	100.1
県内(大学)	8.6	36.6	21.0	15.2	6.2	3.3	2.5	6.6	100.0
県外(大学)	20.4	40.8	18.4	8.2	0	4.1	0	8.2	100.1

Q7. 現在、日本は東南アジアと密接な関係にあります。今後はどの分野の交流がより重要だと思いますか？

	1.経済	2.文化	3.政治	4.技術	5.軍事	Y その他	N. A.	計
全 体	42.4	24.5	9.9	29.2	2.6	2.6	3.4	114.6
男	39.1	25.3	9.6	34.4	2.8	2.2	1.1	114.5
女	47.7	23.2	10.5	20.5	2.3	3.2	7.3	114.7
大学(全体)	44.2	28.1	10.3	34.9	2.4	1.4	2.7	124.0
男	38.9	27.9	9.6	35.4	2.6	1.3	1.7	117.4
女	65.5	31.0	13.8	34.5	1.7	2.0	6.9	153.4
高校(全体)	39.9	22.3	9.6	24.4	2.7	3.8	5.5	108.2
男	34.6	22.6	9.8	33.8	3.0	3.8	2.3	109.9
女	44.3	22.2	9.5	16.5	2.5	3.8	8.2	105.7
県内(大学)	47.9	27.8	12.0	32.9	3.0	0.9	3.0	127.5
県外(大学)	29.3	29.3	3.4	43.1	0	3.4	1.7	110.2

Q 8. 今年4月に沖縄国際センターがオープンしますが、このことをあなたは知っていますか？

	1. はい	2. いいえ	N. A.	計
全 体	55.2	42.5	2.2	99.9
男	61.4	36.1	2.5	100.0
女	45.0	53.2	1.8	100.0
大学(全体)	79.1	17.8	3.1	100.0
男	78.3	19.1	2.6	100.0
女	81.0	13.8	5.2	100.0
高校(全体)	31.3	67.4	1.4	100.1
男	32.3	65.4	2.3	100.0
女	30.4	69.0	0.6	100.0
県内(大学)	82.1	15.0	3.0	100.1
県外(大学)	67.2	29.3	3.4	99.9

Q 9. 沖縄国際センターは、どこにありますか？(Q 8の「はい」の回答者に対して)

	1. 那覇市	2. 沖縄市	3. 浦添市	4. 宜野湾市	5. 名護市	6. 本部町	Yその他	N. A.	計
全 体	3.7	2.2	77.6	4.3	0.9	0.6	4.3	6.2	99.8
男	3.1	1.3	79.4	4.0	1.3	0.4	4.0	6.3	99.8
女	5.1	4.0	73.7	5.1	0	1.0	5.1	6.1	100.1
大学(全体)	3.5	1.7	84.4	1.7	0.9	0.4	2.2	5.2	99.9
男	3.3	1.1	84.4	1.7	1.1	0.6	2.8	5.0	100.0
女	4.3	4.3	84.7	1.9	0	0	0	4.3	100.1
高校(全体)	4.4	3.3	60.4	11.0	1.1	1.1	9.9	8.8	100.0
男	2.3	2.3	58.1	14.0	2.3	0	9.3	11.6	99.9
女	6.3	4.2	62.5	8.3	0	2.1	10.4	6.3	100.1
県内(大学)	2.1	2.1	84.9	2.1	1.0	0.5	2.6	4.7	100.0
県外(大学)	10.3	0	82.1	0	0	0	0	7.7	100.0

Q10. 沖縄にとって国際交流は必要なことだと思いますか？

	1. とても必要	2. ある程度必要	3. なんとも言えない	4. あまり必要でない	5. まったく必要ない	N. A.	計
全 体	52.3	35.8	9.1	0.5	0.9	1.4	100.0
男	53.7	34.2	9.1	0.6	1.4	1.1	100.1
女	50.0	38.6	9.1	0.5	0	1.8	100.0
大学(全体)	56.8	33.6	7.5	0	0.7	1.4	100.0
男	55.7	34.8	8.3	0	0.9	0.4	100.1
女	62.1	27.6	5.2	0	0	5.2	100.1
高校(全体)	47.8	38.1	10.7	1.0	1.0	1.4	100.0
男	50.4	33.1	10.5	1.5	2.3	2.3	100.1
女	45.6	42.4	10.8	0.6	0	0.6	100.0
県内(大学)	57.9	33.2	6.4	0	0.9	1.7	100.1
県外(大学)	52.6	35.1	12.3	0	0	0	100.0

Q11. 沖縄は、これからどの地域(国)と最も交流を深めていくべきだと思いますか？

	1. アメリカ	2. ヨーロッパ	3. 中国	4. 台湾	5. 南米	6. 東南アジア	7. オセアニア	8. アフリカ	9. その他	N. A.	計
全 体	20.4	16.8	26.9	4.5	5.5	26.9	2.6	2.4	4.1	5.3	115.4
男	16.0	13.2	26.4	5.2	6.1	33.1	2.8	1.9	4.7	2.8	112.2
女	27.7	22.7	27.7	3.2	4.5	16.8	2.3	3.2	3.2	9.5	120.8
大学(全体)	14.7	13.0	32.5	5.5	6.1	42.5	3.4	2.1	3.1	2.4	125.3
男	13.9	7.8	29.1	6.1	6.1	44.3	3.5	1.7	3.0	0.9	116.4
女	19.0	34.5	43.1	3.4	6.1	36.2	3.4	3.4	3.4	8.6	161.9
高校(全体)	26.1	20.6	21.3	3.4	4.8	11.3	1.7	2.7	5.2	8.2	105.3
男	19.5	22.6	21.8	3.8	6.0	13.5	1.5	2.3	7.5	6.0	104.5
女	31.6	19.0	20.9	3.2	3.8	9.5	1.9	3.2	3.2	10.1	106.4
県内(大学)	17.9	15.2	34.8	3.6	6.3	44.2	3.6	2.2	2.2	3.1	133.1
県外(大学)	5.2	6.9	29.3	13.8	6.9	41.4	3.4	1.7	6.9	0	115.5

Q12. 沖縄はこれから、どの分野で国際交流を深めていくべきだと思いますか？

	1. 経済	2. 文化	3. 政治	4. 技術	5. 軍事	6. その他	N. A.	計
全 体	38.8	42.4	6.7	18.4	2.6	2.6	3.4	114.9
男	42.1	41.6	5.8	19.0	2.8	2.8	1.4	115.5
女	33.2	43.6	8.2	17.3	2.3	2.3	6.8	113.7
大学(全体)	47.9	43.5	5.8	18.5	1.4	1.4	2.1	120.6
男	49.6	42.2	4.8	19.1	1.4	1.3	0.4	117.8
女	41.4	51.7	10.3	15.5	1.4	1.7	6.9	127.5
高校(全体)	29.6	41.2	7.6	18.2	3.8	3.8	4.8	109.0
男	29.3	40.6	7.5	18.8	4.5	5.3	3.0	109.0
女	29.7	41.8	7.6	17.2	3.2	2.5	6.3	108.3
県内(大学)	53.1	47.3	7.1	19.6	0.9	0.4	2.2	130.6
県外(大学)	36.2	36.2	1.7	17.2	3.4	5.2	1.7	101.6

Q13. あなたは、天皇および皇族に対してどんな感じをお持ちですか？

	1. 尊くておそれ多い	2. 親しみ	3. 何とも感じない	4. 反感	5. 憎悪	Yその他	N.A.	計
全 体	3.8	6.0	68.6	13.9	3.4	3.8	1.0	100.5
男	3.3	7.4	66.7	13.5	4.7	5.0	0.3	100.9
女	4.5	3.6	71.8	14.5	1.4	1.8	2.3	99.9
大学(全体)	3.7	8.8	68.4	12.2	3.1	2.7	1.0	99.9
男	3.9	10.3	67.2	11.6	3.4	3.4	0	99.8
女	3.4	1.7	72.4	15.5	1.7	0	5.2	99.9
高校(全体)	3.8	3.1	68.4	15.5	3.8	4.8	1.0	100.4
男	2.3	2.3	64.7	16.5	6.8	7.5	0.8	100.9
女	5.1	3.8	71.5	14.6	1.3	2.5	1.3	100.1
県内(大学)	3.4	5.9	70.3	13.6	3.4	2.1	1.3	100.0
県外(大学)	5.2	20.7	60.3	6.9	1.7	5.2	0	100.0

Q14. あなたは太平洋戦争の戦争責任を誰に求めますか? (注: 該当するものはいくつでもよい)

(全体を 100%とする)

	1. 天皇	2. 軍部	3. 内閣	4. 国民	5. 外国	X わから ない	Y その他	N.A.	計
全 体	17.4	34.8	20.2	9.9	4.0	10.0	3.2	0.6	100.1
男	16.0	36.2	19.5	11.6	3.9	8.4	4.3	0.2	100.1
女	19.7	32.5	21.3	7.1	4.1	12.6	1.4	1.4	100.1
大学(全体)	14.1	35.7	21.4	13.7	3.7	7.1	3.7	0.6	100.0
男	13.4	36.1	20.8	13.7	3.7	7.6	4.7	0	100.0
女	17.1	34.1	22.8	13.6	3.6	5.7	0.8	2.4	100.0
高校(全体)	21.3	33.7	18.8	5.4	4.3	13.3	2.5	0.7	100.0
男	20.9	36.4	17.0	7.8	4.4	9.7	3.4	0.5	100.1
女	21.6	31.4	20.3	3.4	4.2	16.5	1.7	0.8	99.9
県内(大学)	14.9	37.5	21.4	13.0	3.6	6.3	2.6	0.7	100.0
県外(大学)	10.6	27.7	21.3	17.0	4.3	10.6	8.5	0	100.0
(単純集計)									
全 体	28.5	56.8	32.9	16.1	6.5	16.3	5.1	1.0	163.2
男	25.9	58.4	31.4	18.7	6.3	13.5	6.9	0.3	161.4
女	32.7	54.1	35.5	11.8	6.8	20.9	2.3	2.3	166.4
大学(全体)	24.7	62.3	37.3	24.0	6.5	12.3	6.5	1.0	174.6
男	22.2	59.6	34.3	22.6	6.1	12.6	7.8	0	165.2
女	36.2	72.4	48.3	27.6	8.6	12.1	1.7	1.7	208.6
高校(全体)	32.3	51.2	28.5	8.2	6.5	20.3	3.8	1.0	151.8
男	32.3	56.4	26.3	12.0	6.8	15.0	5.3	0.8	154.9
女	32.3	46.8	30.4	5.1	6.3	24.7	2.5	1.3	149.4
県内(大学)	27.7	69.6	39.7	24.1	6.7	14.8	4.9	1.3	188.8
県外(大学)	17.2	44.8	34.5	27.6	6.9	17.2	13.8	0	162.0

Q15. 天皇制の将来は、どうあるべきだと思いますか？

	1. 今のまま でよい	2. 権限を 与える	3. 主権者に もどす	4. 天皇制 廃止	X. わから ない	Y. その他	N. A.	計
全 体	56.3	4.6	0	23.1	13.5	0.7	1.7	99.9
男	57.6	4.7	0	25.2	10.5	1.1	0.8	99.9
女	54.3	4.5	0	19.7	18.4	0	3.1	100.0
大学(全体)	63.6	3.4	0	24.1	6.8	0.7	1.4	100.0
男	63.7	4.3	0	25.2	5.7	0.9	0.4	100.0
女	63.3	0	0	21.7	10.0	0	5.0	100.0
高校(全体)	49.0	5.9	0	22.1	20.3	0.7	2.1	100.1
男	47.3	5.3	0	25.2	19.1	1.5	1.5	99.9
女	50.3	6.3	0	19.5	21.4	0	2.5	100.0
県内(大学)	61.9	3.8	0	25.4	6.8	0.4	1.7	100.0
県外(大学)	70.7	1.7	0	19.0	6.9	1.7	0	100.0

Q16. 他府県と沖縄とでは、天皇に対する意識はちがうと思いますか？

	1. はい	2. いいえ	X. わからない	N. A.	計
全 体	64.9	11.9	22.2	1.0	100.0
男	69.3	10.5	19.9	0.3	100.0
女	57.9	14.0	25.8	2.3	100.0
大学(全体)	74.3	8.9	15.8	1.0	100.0
男	73.5	10.0	16.5	0	100.0
女	77.6	5.2	12.1	5.2	100.1
高校(全体)	55.5	14.8	28.6	1.0	99.9
男	61.8	11.5	26.0	0.8	100.1
女	50.3	17.6	30.8	1.3	100.0
県内(大学)	76.9	7.9	14.0	1.2	100.0
県外(大学)	62.0	14.0	24.0	0	100.0

Q17. これまで天皇が訪れていない県は沖縄だけであることを、あなたは知っていましたか？

	1. はい	2. いいえ	N. A.	計
全 体	42.0	56.9	1.0	99.9
男	46.0	53.4	0.6	100.0
女	35.5	62.7	1.8	100.0
大学(全体)	53.1	45.5	1.4	100.0
男	54.8	44.8	0.4	100.0
女	46.6	48.3	5.2	100.1
高校(全体)	30.9	68.4	0.7	100.0
男	30.8	68.4	0.8	100.0
女	31.0	68.4	0.6	100.0
県内(大学)	53.6	44.7	1.7	100.0
県外(大学)	50.9	49.1	0	100.0

Q18. 昭和62年国体で、天皇が初めて沖縄を訪問することについて、あなたはどのように思いますか？

	1. 賛成	2. どちらかといえは賛成	3. どちらかといえは反対	4. 反対	X わからない	N. A.	計
全 体	20.7	24.6	13.0	7.5	32.1	2.1	100.0
男	22.5	23.9	13.2	9.6	29.1	1.6	99.9
女	17.6	25.8	12.7	4.1	37.1	2.7	100.0
大学(全体)	26.4	23.7	13.9	8.8	25.1	2.0	99.9
男	27.6	24.1	12.5	10.3	24.1	1.3	99.9
女	18.6	23.7	20.3	3.4	28.8	5.1	99.9
高校(全体)	14.8	25.5	12.1	6.2	39.3	2.1	100.0
男	13.6	23.5	14.4	8.3	37.9	2.3	100.0
女	15.8	27.2	10.1	4.4	40.5	1.9	99.9
県内(大学)	21.5	24.9	16.9	8.9	25.7	2.1	100.0
県外(大学)	46.6	19.0	1.7	8.6	22.4	1.7	100.0